



2015年 11月 27日

安心して子どもを生き育てられるよう

保育の公的責任の堅持と保育施策の拡充を求める請願書

犬山市議会議長

堀江 正栄殿

水野正光  
岡村千里  
菅

紹介議員 岡

請願団体 犬山市保育を守る会

請願代表者

住所

氏名

以下、692名

請願主旨

2015年4月より、「子ども・子育て支援新制度」(以下「新制度」)が始まりました。国と自治体が責任を負う公的保育制度を解体し、保育を市場に委ねる「新制度」には、子どもにとっての必要性と権利保障という視点がなく、子どもの保育に格差が生じ、保育環境が悪化することも懸念されます。

犬山市でも、「新制度」が始まり、複雑な認定制度の問題、保育料の値上げなど、保護者からの様々な声が上がっています。また、保育士不足は犬山市に於いても深刻な問題です。虐待や育児不安が急増する現在、保護者が安心して預けられる保育施設整備と保育士などの職員の処遇改善が、いよいよ重要になっています。児童福祉法24条1項の「自治体の保育実施義務」を基本に、実態を踏まえた施策の改善・拡充が必要です。

今、多くの保護者は安心して預けられる認可保育所と児童クラブ(学童保育所)を求めています。私たち犬山市保育を守る会では、「働きながら安心して子どもを生き育てられる」という基本的な立場から、犬山市において、引き続き、公的責任で子ども達の人格を尊重しその健やかな育ちを最大限保障しうる保育・学童保育施策が実施されること、すべての子どもたちが等しく豊かに育つ制度の実施を願って、以下について請願いたします。

取り扱い団体 犬山市保育を守る会 [hokumamoru@gmail.com](mailto:hokumamoru@gmail.com)

犬山市職員労働組合 62-4141

